

目次

第1章	環境研究センターの概要	
1・1	沿革	7
1・2	施設の概要	8
1・3	位置図	8
1・4	組織と業務	10
第2章	業務概要	
2・1	企画情報室	13
2・2	大気部	14
2・3	廃棄物・化学物質部	18
2・4	水質地質部	20
第3章	啓発事業、学会発表等	
3・1	啓発事業	29
3・2	学会発表	37
3・3	論文等の発表	40
3・4	報告書等の執筆、発行	41
3・5	インターンシップ等の受け入れ	41
3・6	国際協力	42
第4章	調査報告編	
4・1	大気部	
	共同研究（プロジェクト）	46
4・1・1	大気環境研究室	48
4・1・2	自動車排気ガス研究室	82
4・1・3	騒音振動研究室	90
4・2	廃棄物・化学物質部	
4・2・1	廃棄物研究室	98
4・2・2	化学物質研究室	108
4・3	水質地質部	
4・3・1	水質環境研究室	122
4・3・2	地質環境研究室	150
4・4	企画情報室	182
第5章	研究報告編	
5・1	大気部	187
5・2	廃棄物・化学物質部	203
5・3	水質地質部	207

4・1 調査報告編（大気部）

共同研究（プロジェクト）

- (1) 有害大気汚染物質リスク評価事業－H17年度報告書の概要－・・・・・・・・・・ 46

4・1・1 大気環境研究室

- (1) 化学物質大気環境調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
- (2) 固定発生源周辺における大気中揮発性有機化合物の自動連続測定・・・・・・・・ 50
- (3) 揮発性有機化合物(VOC)発生源におけるVOC測定法の検討・・・・・・・・・・ 52
- (4) 揮発性有機化合物(VOC)排出施設における排出VOC実態について・・・・・・・・ 54
- (5) 浮遊粒子状物質のトレンド解析と発生源寄与の推定・・・・・・・・・・・・ 56
- (6) 光化学オキシダントに係る高濃度大気汚染に関する研究・・・・・・・・・・・・ 58
- (7) 日本における光化学オキシダント等の挙動解明に関する研究・・・・・・・・・・ 60
- (8) 房総半島丘陵における大気汚染機構・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
- (9) 大気環境水準調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
- (10) 大気中の化学物質環境実態調査(環境省委託)・・・・・・・・・・・・ 66
- (11) 酸性雨に関する調査研究(1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
- (12) 酸性雨に関する調査研究(2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
- (13) 都市地域の大気中アンモニア濃度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
- (14) パッシブサンプラーを用いた開放型牛舎から揮散するアンモニアの測定・・・・ 72
- (15) 特定粉じん(アスベスト)に関する調査研究・・・・・・・・・・・・ 74
- (16) ばい煙発生施設の排出基準等に係る立入検査・・・・・・・・・・・・ 76
- (17) 揮発性有機化合物排出施設の排出基準等に係る立入検査・・・・・・・・・・ 77
- (18) 有害大気汚染物質発生源対策調査(環境省委託)・・・・・・・・・・・・ 78
- (19) 環境放射能水準調査(文部科学省委託調査)・・・・・・・・・・・・ 80

4・1・2 自動車排気ガス研究室

- (1) 野田宮崎自動車排気ガス測定局における汚染状況の解析・・・・・・・・・・ 82
- (2) 道路沿道地域における汚染状況の評価に関する研究・・・・・・・・・・・・ 84
- (3) 道路沿道周辺におけるディーゼル自動車から排出される粒子状物質(DEP)の環境
負荷量に関する調査研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86
- (4) 物流と大気汚染・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88

4・1・3 騒音振動研究室

- (1) 移動発生源に係る低周波音の調査研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 90
- (2) 環境騒音の総合評価に関する調査研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
- (3) 環境振動評価法に関する調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94

4・2 調査報告編（廃棄物・化学物質部）

4・2・1 廃棄物研究室

- (1) 溶融スラグの品質保証に関する研究（2）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98
- (2) 遮水工のない最終処分場（旧処分場）の周辺環境調査・・・・・・・・・・ 100
- (3) 最終処分場浸出水の成分濃度の時系列変化と降水量との関係・・・・・・・・ 102
- (4) 最終処分場モニタリングにおける非破壊地下探査法の有効性の検討・・・・ 104
- (5) 廃棄物層調査における電磁探査法の適用事例・・・・・・・・・・・・・・・・ 106

4・2・2 化学物質研究室

- (1) 排ガス中のダイオキシン類発生源施設の立入検査－2006年度の結果－・・・・ 108
- (2) 千葉県における環境大気中のダイオキシン類濃度について－2006年度の結果－・・・・ 109
- (3) LC/MSを用いた分析法開発(3)－フェンバレーレート－・・・・・・・・・・・・ 110
- (4) LC/MSを用いた分析法開発(4)－ベンゾグアナミン－・・・・・・・・・・・・ 112
- (5) 下手賀沼におけるダイオキシン類の水質環境基準値超過について・・・・・・・・ 114
- (6) 下手賀沼におけるダイオキシン類汚染機構解明調査（1）・・・・・・・・・・・・ 116
- (7) 生物学的手法を用いた環境モニタリング手法についての研究（Ⅱ）・・・・ 118

4・3 調査報告編（水質地質部）

4・3・1 水質環境研究室

- (1) 印旛沼・手賀沼に関する情報の整理と解析（1）印旛沼の最近の水質・・・122
- (2) 印旛沼・手賀沼に関する情報の整理と解析（2）手賀沼の最近の水質・・・124
- (3) 千葉県北総地域の河川における硝酸性窒素濃度実態調査・・・126
- (4) 赤潮等プランクトン調査・・・128
- (5) 東京湾の青潮発生状況（2006年）・・・130
- (6) 三番瀬猫実川河口部カキ礁の生物調査・・・132
- (7) 窒素・りんに関する業種別・規模別の排出実態調査（畜産業）
 - －平成18年度調査結果－・・・134
- (8) 窒素・りんに関する業種別・規模別の排出実態調査（畜産業）
 - －豚舎排水調査のまとめ－・・・136
- (9) 溶存酸素簡易分析法の精度確認試験・・・137
- (10) 畜産排水原単位と排出率の検討・・・138
- (11) 食料品製造業に対する凝集膜処理の適用性の検討・・・140
- (12) 生活用品による汚濁負荷量調査（IV）・・・142
- (13) 印旛沼・手賀沼流入河川における凝集沈殿によるりん除去法の検討（IV）・・・144
- (14) 水田による窒素浄化機能調査－特に冬期湛水田を対象に－・・・146
- (15) ベトナムにおける水環境整備事業にかかる効果発現調査・・・148

4・3・2 地質環境研究室

- (1) 2005－2006年の県内の地盤の変動傾向
 - －精密水準測量の詳細分布図の作成より－・・・150
- (2) 2001年から2006年の九十九里地域の地盤の変動傾向
 - －精密水準測量の5年間累計値の詳細分布図の作成より－・・・152
- (3) 千葉県における地下水採取と地盤変動量について（その2）・・・154
- (4) 関東地下水盆の地盤沈下と地下水位変動・・・156
- (5) 九十九里平野中部における上ガスの分布と地質環境
 - －九十九里町・東金市・大網白里町での調査結果から－・・・158
- (6) 2006年12月26日の豪雨時に関東ローム台地上にみられた浸水域の分布
 - －富里市における調査結果－・・・160
- (7) 地層の液状化－流動化に関する調査研究
 - －市原市市東第一小学校グラウンドにおける液状化－流動化調査－・・・162
- (8) 房総半島を中心とした地域の長周期地震動に関する検討
 - －2004年中越地震の観測結果から－・・・164
- (9) 2006年8月31日及び9月7日の地震について（最大加速度値と気象庁発表震度）・・・166
- (10) 千葉県における地震動の特徴－主要動の卓越振動数と地質について－・・・168
- (11) 観測井戸設置時の洗浄不足と観測水質への影響
 - －千葉県市原市妙香地域における観測井戸を例として－・・・170
- (12) 埋立て事業地における残土石の利用上の問題点と汚染対策について・・・172
- (13) 観測井の孔内地下水の深度方向の温度分布・・・174
- (14) 千葉県旭市倉橋における硝酸性窒素等による汚染問題 その1
 - －台地の水文地質単元－・・・176
- (15) 千葉県旭市倉橋地域における硝酸性窒素等の地質汚染調査 その2
 - －地下水質調査結果から－・・・178
- (16) 地質汚染機構解明調査・除去対策への技術援助・・・180

4・4 調査報告編（企画情報室）

- (1) 千葉県における大気汚染物質濃度と気象要素との関係の変化について 182

第5章 研究報告編

5・1 大気部

- (1) 温暖化防止対策としての乗用車利用抑制策の検討 187
- (2) リモートセンシングによる自動車排気ガス実態調査 (I)
ー 地域の生活道路における調査結果 ー 195

5・2 廃棄物・化学物質部

- (1) LC/MS/MSによる環境水中の向精神薬の分析法と公共用水域の実態
ーフェノバルビタール、カルバマゼピンー 203

5・3 水質地質部

- (1) 湖沼 (印旛沼・手賀沼) における有機物質の生成・分解に関する機構解明 207
- (2) 印旛沼流域水循環健全化緊急行動計画みためし行動 (学び系) において
実践した印旛沼学習、その評価と課題 211